



ニュースリリース 平成 24年 11月 30日

<企画展>「日本のお正月」のご案内～常陽史料館～

常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、このたび、常陽史料館(館長 館野 孝男)において下記のとおり企画展「日本のお正月」を開催いたします。

本展では、日本のお正月の風物から「獅子頭」「那珂湊だるま」「水引」の3つの工芸をご紹介します。

「常陸獅子」は、かつて桐の産地として知られた石岡市周辺で、江戸時代中期より制作されてきました。眉が太く、力強い表情が特色で、祭礼時のみの使用だけではなく、魔除けとしての効能も持つことから、獅子踊りは新年の風物となっています。

「那珂湊だるま」の名称で親しまれている「手づくり張り子の達磨」も江戸時代より制作され、ひたちなか市の無形文化財の指定を受けています。腹部や額が出て顔の彫りが深いのが特徴で、家内安全祈願のため新年に向け年末から準備する家が多く見られます。

また、紙漙(こより)に糊をひき乾かし固めた飾り紐「水引」は、お正月の飾り物、結納品、祝儀袋などに使用されるものですが、現在では「水引アート」という現代的な立体作品に進化を遂げているものもあります。

本企画展では、伝統を確実に継承している工芸と、一部が現代アートにまで変身した工芸との対比を見ながら、工芸のお正月における役割について考察します。

つきましては、多くの皆さまにご覧いただけますようご案内いたします。

記

- 会 期：平成24年12月4日(火)～平成25年1月27日(日)
- 休 館 日：毎週月曜日、12月29日～1月4日
- 開館時間：10:00～17:45
- 会 場：常陽史料館 アートスポット(入場無料)

以 上